

氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	臨床生理学, 生理検査学, 睡眠学, 時間生物学				
学位	博士（保健学）				
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了, 2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了				
経歴	2000年日本大学医学部副手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院 研究員, 臨床検査技師, 2010年日本学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム&ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田大学スポーツ科学学術院助教, 2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教, 2017年埼玉県立大学健康開発学科准教授, 2023年埼玉県立大学健康開発学科教授				
所属学会（役職）	日本睡眠学会（評議員, 幹事 国際機関誌編集委員, ガイドライン委員会, ダイバーシティ委員会）, 日本時間生物学会（評議員）, 日本PSG研究会（幹事）, 日本臨床神経生理学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会, 日本睡眠検査学会, 日本女性心身医学会, SPU学会, American Association of Sleep Technologist (AASST), American Academy of Sleep Medicine (AASM), National Sleep Foundation（NSF）				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	増大号特集 睡眠の正しい理解を促す70のトリビア Q33 本人は「眠れていない」と言い張るものの、ご家族からすると寝ているように見える患者さんがいますが、本当のところはどうなのでしょう？	単著	あり	精神医学 67巻5号 pp.666-670, 医学書院	有竹清夏	2025.5
2	睡眠障害の診療update. 睡眠環境について.	単著	あり	日本臨床. 朝倉書店	有竹清夏	2025.7
3	第2章 2-1 睡眠の機能「ホルモン」. より良い眠りのための睡眠マネジメント：ライフステージ・睡眠環境・生活習慣＝Management of sleep.	単著	あり	朝倉書店	有竹清夏	2025.11
4	第9章 9-3 睡眠と生活習慣「入浴と睡眠」. より良い眠りのための睡眠マネジメント：ライフステージ・睡眠環境・生活習慣＝Management of sleep.	共著	あり	朝倉書店	有竹清夏, 伏見もも, 五月女杏.	2025.11
5	第9章 9-2 睡眠と生活習慣「運動と睡眠」. より良い眠りのための睡眠マネジメント：ライフステージ・睡眠環境・生活習慣＝Management of sleep.	共著	あり	朝倉書店	有竹清夏, 伏見もも.	2025.11
6	第9章 9-4 睡眠と生活習慣「早寝・早起きと睡眠」. より良い眠りのための睡眠マネジメント：ライフステージ・睡眠環境・生活習慣＝Management of sleep.	共著	あり	朝倉書店	五月女杏, 有竹清夏	2025.11
7	第9章 9-1 睡眠と生活習慣「食事と睡眠」. より良い眠りのための睡眠マネジメント：ライフステージ・睡眠環境・生活習慣＝Management of sleep.	共著	あり	朝倉書店	伏見もも, 有竹清夏	2025.11
8	第9章 9-2 睡眠と生活習慣「昼寝と睡眠」. より良い眠りのための睡眠マネジメント：ライフステージ・睡眠環境・生活習慣＝Management of sleep.	共著	あり	朝倉書店	野々村ゆかり, 有竹清夏	2025.11

(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Inosine attenuates glycolysis in erythrocytes via glucose transporter inhibition	共著	あり	○	Ann Clin Biochem . 2026 Mar 2:45632261433354. doi: 10.1177/00045632261433354.	Kume Y, Ohkubo M, Nakatuka N, <u>Aritake - Okada S</u> , Yoshida T, Isago H, Kurano M.	2026.3
2	Supplementing Inosine to Blood Collection Tubes Adds a Glycolytic Inhibitory Effect	共著	あり	○	Journal of Diabetes 17(8) 2025.8	Kume Y, Ohkubo M, Nakatuka N, <u>Aritake - Okada S</u> , Yoshida T, Isago H, Kurano M.	2025.8
3	Human deep sleep facilitates cerebrospinal fluid dynamics linked to spontaneous brain oscillations and neural events	共著	あり	○	PNAS 122 (41) e2509626122	Uji M, Li X, Saotome A, Katsumata R, Waggoner R. A, Suzuki C, Ueno K, <u>Aritake S</u> , Tamaki M.	2025.10
4	Respiratory-Related Leg Movement as a predictor of mortality: the Osteoporotic Fractures in Men (MrOS) sleep study.	共著	あり	○	Sleep, zsaf310, https://doi.org/10.1093/sleep/zsaf310	Esmaeili N, <u>Aritake S</u> , Redline S, Winkelman J, Azarbarzin A.	2025.10
5	Relationship Between Insoluble Dietary Fiber Intake and Non-Restorative Sleep in Japanese Adults: A Cross-Sectional Analysis of the NHNS Japan, 2014 and 2018 .	共著	あり	○	Nutrients 17(23) 3749-3749	Fushimi M, Kawamura A, Utsumi T, Nagao K, Matsui K, Kimura A, <u>Aritake-Okada S</u> , Yoshiike T, Kuriyama K.	2025.11
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	Time estimation during nocturnal sleep among young adult women and menopausal women.	共同	SLEEP2025, Seatle		○ <u>Sayaka Aritake-Okada</u> , An Saotome, Mamika Nakazawa, Yuumi Arai, Momo Fusimi		2025.6
2	The Effects and associations of physical exercise in luteal phase on heat dissipation, sleep structure, and subjective evaluation.	共同	SLEEP2025, Seatle		○Momo Fushimi, Ryusei Iijima , Shiori Noguchi, Sayaka <u>Aritake-Okada</u>		2025.6
3	The relationship between physiological arterial function and sleep-related factors in young adult women and menopausal women	共同	SLEEP2025, Seatle		○Mami Yamaji, Honoka Oshida, An Saotome1 Momo Fushimi, <u>Sayaka Aritake-Okada</u>		2025.6
4	Effects of combined hand and foot bathing on heat dissipation, daytime sleep structure, and gender differences	共同	SLEEP2025, Seatle		○An Saotome, Maki Hagita, Rinna Saito, Yuka Fujiki, Momo Fusimi, <u>Sayaka Aritake-Okada</u>		2025.6
5	【シンポジウム】睡眠医療における人材定着マネジメントとワーク・ライフ・バランス: 検査技師会員調査から見てきたワーク・ライフ・バランスにおける課題	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.		○ <u>有竹清夏</u>		2025.7
6	【シンポジウム】更年期と睡眠: 更年期における放熱、睡眠構造、主観的評価	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.		○ <u>有竹清夏</u>		2025.7
7	更年期女性及び成熟期女性における夜間睡眠中の時間認知	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.		○ <u>有竹清夏</u> 、五月女杏、中沢眞妙花、新井悠未、伏見もも、山路茉実、小形海早季		2025.7

8	日本人における不溶性食物繊維摂取量と睡眠休養感の関連に及ぼす習慣飲酒、睡眠時間の影響	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.	○伏見もも、河村葵、内海智博、吉池卓也、松井健太郎、長尾賢太郎、木村綾乃、 <u>有竹清夏</u> 、栗山健一	2025.7
9	成熟期女性と更年期女性における生理学的動脈硬化指標と睡眠習慣・生活習慣	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.	○山路茉実、忍田ほのか、伏見もも、 <u>有竹清夏</u>	2025.7
10	手足温浴による徐波睡眠量と精神的・身体的評価の性差相関	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.	○五月女杏、萩田万喜、齊藤鈴奈、藤木優花、伏見もも、 <u>有竹清夏</u>	2025.7
11	40時間断眠状況下での長距離運転が血管の硬さと認知行動機能に及ぼす影響	共同	第49回日本睡眠学会定期学術集会. 広島.	○久保智英、松元俊、池田大樹、西村悠貴、劉欣欣、井澤修平、吉川徹、 <u>有竹清夏</u> 、玉置應子	2025.7
12	生理学的動脈硬化指標と睡眠・生活習慣の関連 ～成熟期女性と更年期女性の比較検討～	共同	日本臨床検査学教育学会, 岡山	○山路茉実、忍田ほのか2、新井悠未、小形海早季、五月女杏、伏見もも、 <u>有竹清夏</u>	2025.8
13	若年成人における睡眠および生活習慣と生理学的動脈硬化指標の関連	共同	埼玉県立大学保健医福祉科学学会, 埼玉	○塚原ひなた,室田葉音,渡辺梨夢,原嶋厚汰,新井悠未,小形海早季,山路茉実, 伏見もも， <u>有竹清夏</u>	2025.11
14	夜間部分断眠後における日中の主観的・客観的入眠の乖離	共同	埼玉県立大学保健医福祉科学学会, 埼玉	○室田葉音、塚原ひなた、渡辺梨夢、原嶋厚汰、新井悠未、小形海早季、山路茉実、伏見もも、 <u>有竹清夏</u>	2025.11
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	厚生労働科学研究費補助金（24FA1001）	研究課題名：睡眠時間・睡眠休養感の確保に影響する就寝環境・生活習慣の客観的評価手法および適切な睡眠取得のための介入・環境整備法の開発		研究分担者	2024.4-
2	文部科学省科学研究費補助金（基盤C：研究代表者）(KAKEN 22K11879)	研究課題名：更年期女性の不眠の病態生理と身体運動に着目した睡眠改善プロトコルの開発と効果検証.		研究代表者	2022.4-
3	文部科学省科学研究費補助金（基盤A：研究分担者）	研究課題名：思考の変容をもたらすヒト睡眠に内在する可塑性の解明.		研究分担者	2025.4-
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生理検査学Ⅰ	○	15	2年次前期3.4限 30時間：科目責任者として心電図, 脳波, 筋電図などの循環器生理学, 脳神経生理学領域の基礎および臨床に関する講義, 定期試験作成・実施を行った.	
2	生理検査学Ⅱ	○	8	2年次前期3.4.5限 15時間：科目責任者として呼吸生理学領域の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.	
3	生理検査学Ⅲ	○	15	3年次前期1.2.3限 15時間：科目責任者として画像検査領域, 感覚機能検査領域の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.	
4	生理検査学特論	○	8	4年次後期2限 15時間：科目責任者として生理機能全般に関する講義・演習を行った.	

5	臨床検査概論		1/8	1年次前期5限 2時間：科目担当者として生理機能検査概論を講義した。
6	生体情報評価学		3/15	大学院博士前期課程1年次 6時間：科目担当者として講義を行った。
7	医療科学研究論	○	4/15	大学院博士後期課程1年次 8時間：科目担当者として講義を行った。
8	特別研究I	○	－	科目担当者として研究指導を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生理検査学演習	○	30	2年次前期3.4.5限 30時間：科目責任者として生理学実習の説明・実演および実習指導を行い, 非常勤講師の対応を行った。
2	検査総合演習		2/15	4年次後期2.3限 4時間：科目担当者として臨床検査科目のうち生理機能検査学について総括を行った。
3	臨床検査基礎演習		22-Jun	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った。
4	健康福祉科学演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った。
5	医療科学研究演習	○	-	大学院博士後期課程：科目責任者として演習指導などを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生理検査学実習Ⅰ・Ⅱ	○	2025.4-2026.3	3年次前期1.2.3限 45時間：科目責任者として循環器, 脳神経, 呼吸機能の検査項目9種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習指導を行った。
2	生理検査学実習Ⅲ	○	2025.4-2026.3	3年次後期3.4.5限 45時間：科目責任者として超音波画像, 感覚機能の検査項目種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習指導を行った。
3	臨地検査技能実習		2025.4-2026.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習前技能評価試験を担当した。
4	臨地実習		2025.4-2026.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設への訪問・対応, 学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の病院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。
5	IPW実習	○	2025.4-2026.3	4年次通年：科目責任者として運営、教員FTのIPW実習受入施設への対応と説明会実施、事後アンケート集計、学生配置などを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4-2026.3	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員） 3名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2025.4-2026.3	主指導（指導教員） 4名	副指導（指導補助教員） 2名
4	博士論文	2025.4-2026.3	主指導（主査） 2名	副指導（副査） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	東京科学大学（東京医科歯科大学）医学部保健衛生学科	2008.4-	3年次生理検査学Ⅱ: 非常勤講師として生理検査学の講義を担当した。	
2	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター	2015.4-	メンタルヘルスマネジメント概論：睡眠の生理	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	山口県周南市立菊川小学校	ねむりん睡眠健康推進機構	健やかな体をつくる睡眠	2025.7
2	SHA勉強会	日本睡眠ヘルスケア講義会	健康維持・増進に役立つ睡眠・休養のコツ	2025.9
3	令和7年度安全衛生技術研修	埼玉労働局	健康維持・増進に役立つ睡眠・休養のコツ	2025.11
4	外部有識者	日本睡眠ヘルスケア講義会	スリープサポート認証評価	2025.11

5	女性のインサイトを起点にした価値の共創 「Project with SHE」	ユニ・チャーム	女性の体温リズム・放熱と睡眠	2025.12	
6	高校出張講座 川口工業高校	地域連携センター	勉強や運動のパフォーマンスを上げるための睡眠のコツ	2025.12	
7	【栃木県】在宅保健師の会研修会	栃木県在宅保健師つゆくさの会	知ってるようで知らない睡眠のこと	2026.3	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期	
1	日本睡眠学会		評議員, 幹事 (2021.7-)	2007.7-	
2	日本睡眠学会		生涯教育セミナー作業部会委員	2007.7-	
3	日本睡眠学会		SBR編集局員	2016.7-	
4	日本睡眠学会		国際機関誌編集委員会	2016.7-	
5	日本睡眠学会		ガイドライン委員会	2016.7-	
6	日本睡眠学会		睡眠ヘルスケアサービスの機能評価に関するWG	2023.7-	
7	日本睡眠学会		ダイバーシティ委員会	2021.7-	
8	日本時間生物学会		評議員	2010.4-	
9	日本睡眠検査学会		評議員	2020.9-	
10	日本睡眠検査学会		学術交流委員会委員長 (2022-)	2020.9-	
11	日本睡眠検査学会		学術企画委員会	2020.9-	
12	日本睡眠検査学会		精度管理委員会	2020.9-	
13	日本臨床検査学教育協議会		学術評議員	2023.4-	
14	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会		学術集会長	2025.4-2026.3	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	花王ヘルスケアナビ		・睡眠の質を上げる ・朝スッキリ起きる方法		2026.1
2	ソフィ 私がわたしの味方になるプロジェクト		ぐっすり眠るためにできることは？		2026.2
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	国の政策	厚生労働省	健康づくりのための睡眠ガイド2023 英語版 研究分担者指針作成		2021.4-
2	産業支援	花王株式会社サニタリー研究所	共同研究		2021.2-
3	産業支援	花王株式会社ヒューマンヘルスケア研究所	共同研究		2024.4-
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会 委員長			2024.4-
2	全学的委員会及びセンター業務等	学長特命業務			2021.4-
3	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者			2023.4-
4	学科等における委員会等	国家試験担当			2024.4-
5	学科等における委員会等	臨床検査技能実習ワーキンググループ			2024.4-
6	学生支援	学生担任教員（1年），学生担当アドバイザー，学習及び進路などの相談・支援			2018.4-
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名		主催	受賞年月	
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名		特許番号	登録年月	
1	該当なし				
8. 特記事項					
1	該当なし				